

## 私達の生活と税金

学校法人大隈記念早稲田佐賀学園

早稲田大学系属早稲田佐賀中学校 3年

守田 風翔

「落ち着いて聞いてね。パパ、緊急手術が必要で、救急車で運ばれたの。」

私は普段は寮生活で、両親とは離れて暮らしている。期末試験が終わった日、父が大手術を受けたこと、無事に終わり、今入院中であることを母から聞いた。その時は驚きと心配でいっぱいであったが、その後元気に退院することができ、安堵した。

「税」について学び、何を書こうかと考えた時に、父やまた他の誰かの命を救うためにサイレンを鳴り響かせ、急いで病院に向かう救急車にも税金が使われていることを改めて感じた。

以前母に、私が一歳半の頃に原因不明の高熱で入院した時の話を聞いたことがある。白血球の数値が異常に高く、髄膜炎も疑われたそう。血液検査、CT、抗生剤の投与など、先生方の適切な診断と治療によりみるみる回復し、二週間程度で退院することができた、診察、入院、薬などが無料になる子ども医療費助成制度はとても心強く、ありがたかったそう。必要な医療を安心して受けられる社会保障制度、もちろんこれも税金で賄われている。

昨今の温暖化による異常気象は毎年豪雨を生み、各地に大きな被害をもたらしている。令和元年の佐賀豪雨は記憶に新しいところだ。佐賀で暮らす私の元にもたくさん心配メールが届くほど、激しい雨が降り、多くの場所が冠水した。このような災害現場にいち早く駆けつけ、救助活動を行い、災害対策や避難支援、復旧作業に尽力を注いでくれる自衛隊や消防の活動もやはり税金で成り立っている。

このように「税」の使われ方を知ること、私達が普段当たり前に支援を受けている数々のサービスが税金によって支えられていることを理解し、そのお陰で安心した生活を送ることができることに感謝の気持ちを持つことができた。

私達中学生は今、この「税」によって守られている側である。全ての中学生は平等に教育を受ける権利があり、教科書や実験器具、冷暖房や通学路の整備などにも税金が使われている。国や佐賀県の歳出を見ても、教育にかける割合は最も高い。今後の日本を担っていく私達への期待が大きいことを感じられた。教育によって人が育ち、社会が造られる。今、こうして学べることを幸せに思い、大人になった時にしっかりと税を納められるような仕事に就くため、また、次の世代の教育を支えていく人材になるため、今は様々なことを学び、思いやりの心を育むことに専念したい。

生まれたての子どもから高齢者まで、幸せに笑い、手を取り合って楽しく生きることのできる社会であり続けるために。